

「朽ちない冠」
～大切なものは見えない～

I コリント 9:24～27

私たちの体は年々朽ち果てていきます。花もどんなに手入れしても花瓶に生けてもいつかは枯れてしまいます。このようにこの世の中に朽ちないものは何1つありません。そして聖書には私たちに一本の髪の毛すら白くも黒くもできない(マタイ5:36)と書いてあります。私達は朽ちるものに対して何も手を打つことはできません。しかし私達はその朽ちてなくなるものを結構頼りにしてしまうのです。朽ちるものに目を向けてしがみついているほど虚しいことはありません。私たちの心を本当に満たすものではないからです。さびしい気持ち不安な気持ちなどは物では解決できません。家族やパートナーもやがてはいなくなります。そういうものに頼って虚しく人生が終わってしまいます。自分がどうして今ここにいるのか、本当の自分が少しでも分かればその日暮らしのような生活にならず抜け殻のようになることはありません。抜け殻にならないためにはどうしたらよいのでしょうか。(Iコリント9:24～27)競技場で走る人たちは賞を取るために走っています。オリンピック選手も金メダルをとるために日々努力しています。「朽ちる冠をとるために」イエス様を知らない人たちはこの「金メダル」をとるためにがんばっていますが、それで私たちの心が本当に満たされるのでしょうか。そのときは輝かしいでしょう。しかしそれも何年も続くものではありません。「過去の栄光」「プライド」「いつまでも〇〇でありたい」あなたの心にもこのような心はないでしょうか。振り返ると自分が何のために生きてきたのかわからない、何もよかったと思うことがなそういうことになってしまうかもしれません。私達にはすぐにでも受け取れる「朽ちない冠」があるということを知ってください。冠には3種類あります。I **朽ちる冠**。これは手に取っていてもやがては腐れてしまう、価値のない冠です。II **茨の冠**。そんな冠にしがみついて虚しい生き方をしてはいけないその思いで、神様はこの世にイエス・キリストを送ってくださいました。イエス・キリストがいたことも、十字架に架かったことも3日後に復活したことも事実です。鞭打ちにされボロボロになった体に、兵士たちは茨の冠をかぶせました。その上でイエス様ののしられました。それは命をかけて私たちに朽ちる冠をとらせないためでした。それが茨の冠です。III **朽ちない冠**。茨の冠があったのは私たちが次に朽ちない冠をうけとるためでした。茨の冠があるから今、私たちに朽ちない冠があるのです。私たちがどの冠をかぶれば一番幸せになるのか考えてください。朽ちない冠を手にしたときあなたも変えられるチャンスがあります。「見よ、わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」と主は言われます。今もあなたの心の扉の外にたてあなたが開けてくれるのを待っています。心の扉には内側にしかドアノブがありません。ですから開けるのも閉めるのもあなた次第なのです。すでに神さまを知っている人も信じているから扉が開いているとは限りません。もう一度自分の扉がどのようになっているか確認して下さい。完全に開いていなかったり、開いてはいるけど網戸をしているのでは意味がありません。朽ちない冠を得る事は私達のどんな事よりも勝ります。そして尊いものです。なぜなら朽ちない冠にはイエス様の十字架の御業があるからです。私達の為に命をかけて私達の罪をさがってくれたのですから、この朽ちない冠には命が架かっているのです。この命の冠を共に目指しましょう。朽ちない冠を受け取るために①**大切なものは見えない**。意志や気持ちは形として見えるものではありません。しかしそういうものが私達を動かしています。世の中には私達にはわからない見えないことがたくさんあります。この見えないものが大切なのです。神様の存在も見えません。本当に大切なものは見えないのです。「信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」(ヘブル11:1)朽ちない冠を手に取りたいと思い、心の扉を開けたときに神様が信じる力を与えてくれます。②**クリスチャンを観察する**。神様を見てみたいという気持ちが少しでもあるなら、クリスチャンを観察してください。どのように神様を信じ、どのように問題を解決しているか、どのように日々生活している観察してください。見えないところで神様が働いていることがよくわかるはずです。そして神様を知っている人たちは自分自身が失格者にならないように努めてください。生活と信じていることが一致するように努めてください。朽ちない冠を受け取るためには今の生活のまま、今の考えのままというわけにはいきません。神様を知っている人は自制しましょう。③**走り続ける**。人が得ているのを見ているだけでなく、自分も得てください。問題や困ったことがあるなら神様に相談してください。神様はあなたの悩みも必要も知っています。しかし神様は私たちの自由意志を尊重します。あなたが「助けて」と手を差し出したとき初めて神様が手を差し伸べてくれます。自分が得られるまで走り続けてください。必ず得られます。求め続けてください。『求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。』(マタイ7:7)朽ちないものに目が向いているうちは欲しいものは手に入りません。そして周りにたくさん大事なものがあっても気付かずに終わってしまう可能性があります。「幻がなければ、民はほしいままにふるまう。しかし律法を守る者は幸いである」(箴29:18)何も先が見えずに走ってはいただ自分の欲しいままに振舞い、何を得て失ったかさえわからない人生になってしまいます。決勝点がわからないような人生の競争は終わりにしましょう。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行くわざを行い、またそれよりもさらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。わたしは、あなたがたのところに戻って来るのです。』(ヨハ14:12～18)神様に目を向けた時私達は孤独では無い事がわかります。朽ちるものを私たちが捨てた時私達の必要を神様は備えて下さいます。そして朽ちない冠を通して朽ちる冠を見たときこの世で私たちに与えられている、朽ちていくものに価値を見出すことができ、感謝をすることができるようになるのです。さあ心の扉を開けてイエス様をお迎えしましょう。朽ちない冠を手にする為に！！